

七ヶ宿小学校が開校

関小学校と湯原小学校が統合され、新生七ヶ宿小学校が4月8日に開校しました。開校式には、地域からの来賓や児童、保護者など約一〇〇人が出席しました。

梅津町長から高橋隆校長へ校旗が授与され、さらに児童代表の佐藤沙希さんと今井陽斗君に手渡され開校が宣言されました。

児童代表の言葉では、6年の高橋晴暉君と秋葉珠莉さんが「人数が増えたくさんの活動を仲間と一緒にするのが楽しみ。閉校した二つの小学校の良いところを引き継ぎ、七ヶ宿小学校をより良い学校にしたい」と述べました。

また、校章の図案をデザインした七ヶ宿中学校2年の小松瑞月さんと、校歌の作詞作曲を手がけた小原在住の佐藤美佐子さんに感謝状が贈られました。

七ヶ宿小学校では、1年生からの英語教育の教材やタブレット端末の導入、さらにはALTの小学校配置など新しい教育活動にも取り組んでいきます。

140年の歴史を刻んだ関、湯原小学校同様、児童と本気で向き合い子どもに寄り添う教育が展開されることを期待します。

七ヶ宿小学校、七ヶ宿中学校で入学式を挙

開校式に引き続き、第1回の歴史的な入学式は、9名の新入生を迎え行われました。

新入生のみなさんは2年生のおにいさん、おねえさんからフラワーアーチで迎えられ、笑顔の中にもちよっぴり緊張した表情で入場しました。

高橋隆校長から、「賢い子、やさしい子、たくましい子」になれるよう明日から頑張りましょうと式辞が述べられました。

新入児童点呼ではひとりひとり名前を呼ばれ、全員が「はい！」と大きな返事をしました。

新入生を迎え、児童数47名でスタートした新生七ヶ宿小学校。校歌にあるように、輝く未来へ翼を広げはばたいてほしいものです。



七ヶ宿小学校入学式

8日午後からは七ヶ宿中学校で第18回入学式が行われました。今年度の新入生は15名。自信と希望に満ちた表情で入場しました。

高橋典士校長は、「みなさんは、関小と湯小の最後の卒業生、誰にでも優しく、一期一会、人との出会いと自分自身を大切にしてください」と式辞を述べました。

新入生を代表し小関優衣さんが「部活動や英語の学習、漢字検定を頑張り、新しい友達とも早く仲良くなりたい。克己の精神で取り組みます」と力強く誓いの言葉を述べました。

創作演劇など伝統と特色ある活動が多い七ヶ宿中学校。活動を通し多くのことを学び実りある中学校生活を送ってください。



七ヶ宿中学校入学式



佐藤沙希さんと今井陽斗君に手渡された校旗



児童代表 高橋晴暉君と秋葉珠莉さん

七ヶ宿小学校「校章」

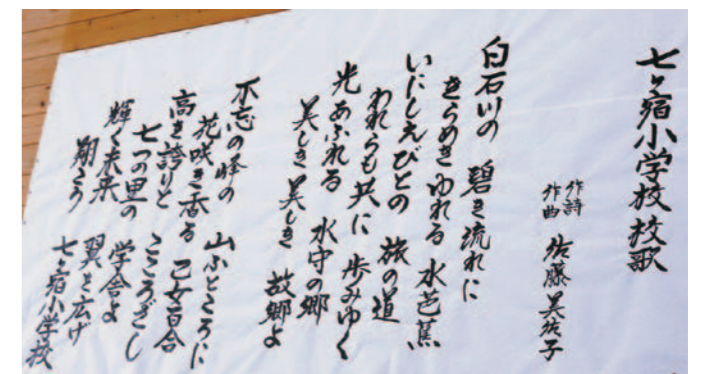
七ヶ宿小学校の「七」に、未来に羽ばたくイメージで鳥を描いた。くちばしには乙女百合、全体を囲む輪は、絆、協力をイメージさせた。七ヶ宿中学校2年小松瑞月さんの作品からデザインされた。



佐藤美佐子さんへ感謝状を贈呈



児童全員で校歌の紹介



新しい校歌